

令和5年度鹿屋市総合教育会議

ヤングケアラーについて

鹿屋市教育委員会

# ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

# 数字で見るヤングケアラー

家族の世話をしている中学生の割合

17人  
にひとり



世話を始めた年齢

9.9歳

# 数字で見るヤングケアラー

## ヤングケアラーと思われる子どもの状況

幼いきょうだいの  
世話をしている



**79.8%**

※中学校

家族に代わり  
家事をしている



**29.3%**

家計のために  
アルバイト等  
している



**64.5%**

※全日制高校

# 数字で見るヤングケアラー

## ヤングケアラーの認知度と自覚について



自分はヤングケアラー  
にあてはまる

約 **2** %



# ヤングケアラーが直面する問題

娯楽や教育  
の機会  
を逃す



孤立や孤独  
に悩む



疲労や  
ストレス  
を抱える



大人になる  
準備の機会  
を逃す

# ヤングケアラーの疑いのある児童生徒

・小学校 **2** 人      ・中学校 **3** 人

- 仕事等により、保護者が家を留守にすることが多い。
- 保護者の養育能力に不安のある家庭が多い。
- きょうだいの世話が主である。
- 新聞配達等で、家計を支えようとする生徒もいる。
- 本人の生活習慣の乱れ等も重なっている傾向にあり、不登校傾向にある児童生徒もいる。

# 大人や学校に助けてほしい **6** つのこと

- ① **自分の現状**について話を聞いてほしい
- ② 自由に使える**時間**がほしい
- ③ 進路や就職など将来の**相談**に乗ってほしい
- ④ 学校の勉強や受験**勉強のサポート**をしてほしい
- ⑤ 家庭への**経済的な支援**をしてほしい
- ⑥ **特にない** (※約**40%**)



# 支援上大切な **3** 本柱

**早期  
発見・把握**

**支援策  
の推進**

**社会的認知  
度の向上**



# 教育委員会の対応

## 学校教育課

### 心の架け橋プロジェクト

- マイフレンド相談員(9名)
- マイフレンドルーム(指導員2名)
- スクールソーシャルワーカー(2名)
- スクールカウンセラー(5名)
- 子どもサミット



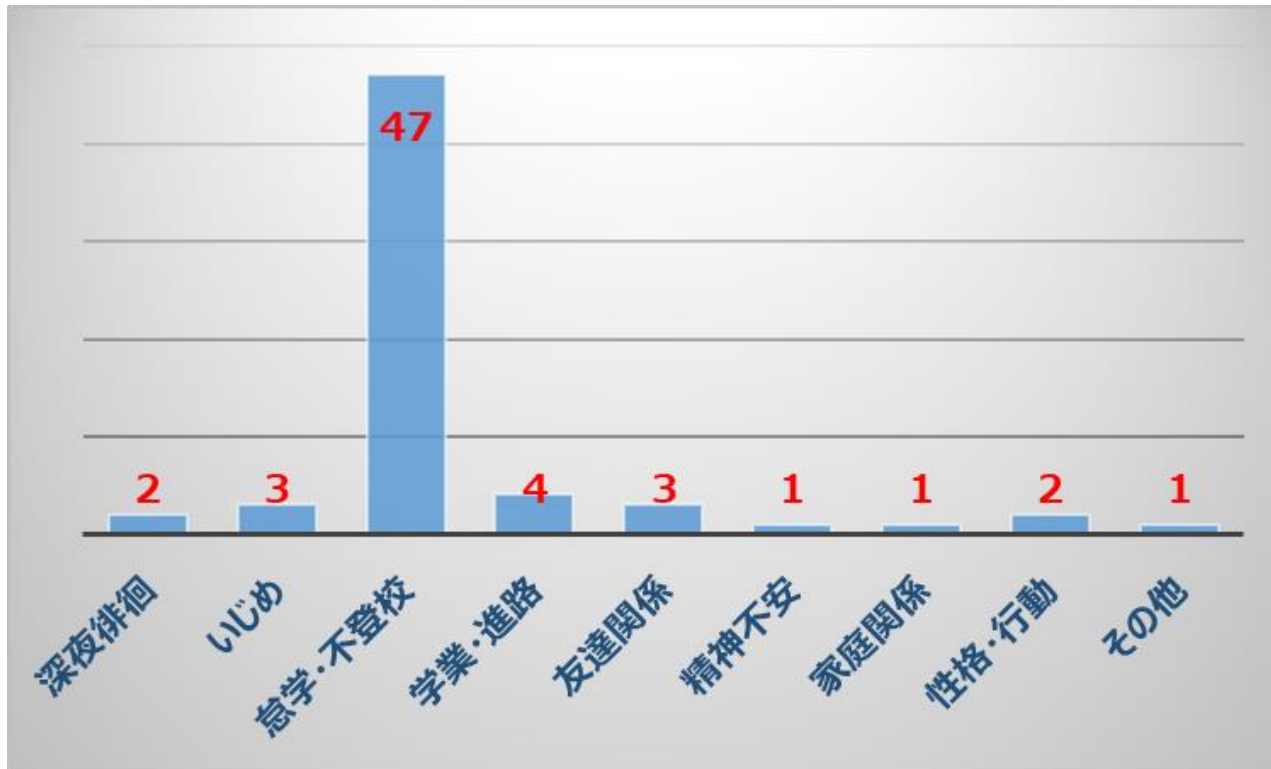
## 生涯学習課

### 鹿屋市青少年問題協議会

- 教育相談室(1名)  
《ワンストップ相談窓口》
- 実務者連絡会(23関係団体)
- 青少年育成指導員(2名)
- 青少年指導員(68名)



# ワンストップ相談窓口の相談事案について



相談内容

※数値は%



相談者別

※数値は%



# 相談したことがない **6** つの理由

- ① 誰かに相談するほどの/  
家族以外の人に相談するような悩みではない
- ② 相談しても状況が変わるとは思わない
- ③ 家族のこと・普通のことなので話さない
- ④ 誰に相談するのがよいか分からない
- ⑤ 家族に対して偏見を持たれたくない
- ⑥ 家族のことを知られたくない

# 大切な私たち大人の気づき

## ～子どもからのSOS～

### 地域

家族の介護や付添いをしている姿を見かける

毎日のようにスーパーで買い物や洗濯をしている

家計を助けるためにアルバイトをしている

### 教育・保育

急に遅刻や早退が多くなった

保健室で過ごすことが多くなった

幼いきょうだいの送迎をしている

### 福祉

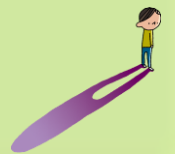
学校に通っているべき時間に学校以外で姿を見かける

家族の介護や付添いをしている姿をよく見かける

### 医療

家族の付き添いをしている姿を見かける

家族の介護・付添いをしている姿を見かける



# ヤングケアラー支援で大切な **3** つポイント

## 支援の視点

「要介護者の家族介護力」としてのみ支援するのではなく、「ケアラー(介護者)の生活・人生の質の向上」に対しても支援する

## 家族全体への 関わり

要介護者と共に、家族(ケアラー・介護者)も支援等の対象として関わる必要性を認識する

## 多機関・専門職 の連携

市町村・多機関・専門職等と連携を図って、支援活動に取り組む